

Cameraholics Lab レンズ構成図で個性を知る オールドレンズ解体新書

2022年2月24日
株式会社ホビージャパン

株式会社ホビージャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松下大介）は、「カメラとフォトグラフィーと人」をテーマとするカメラ・写真誌「カメラホリック」の別冊『Cameraholics Lab レンズ構成図で個性を知る オールドレンズ解体新書』を2月24日（火）より全国の書店で発売いたします。

オールドレンズの深く豊かな世界へと誘う一冊

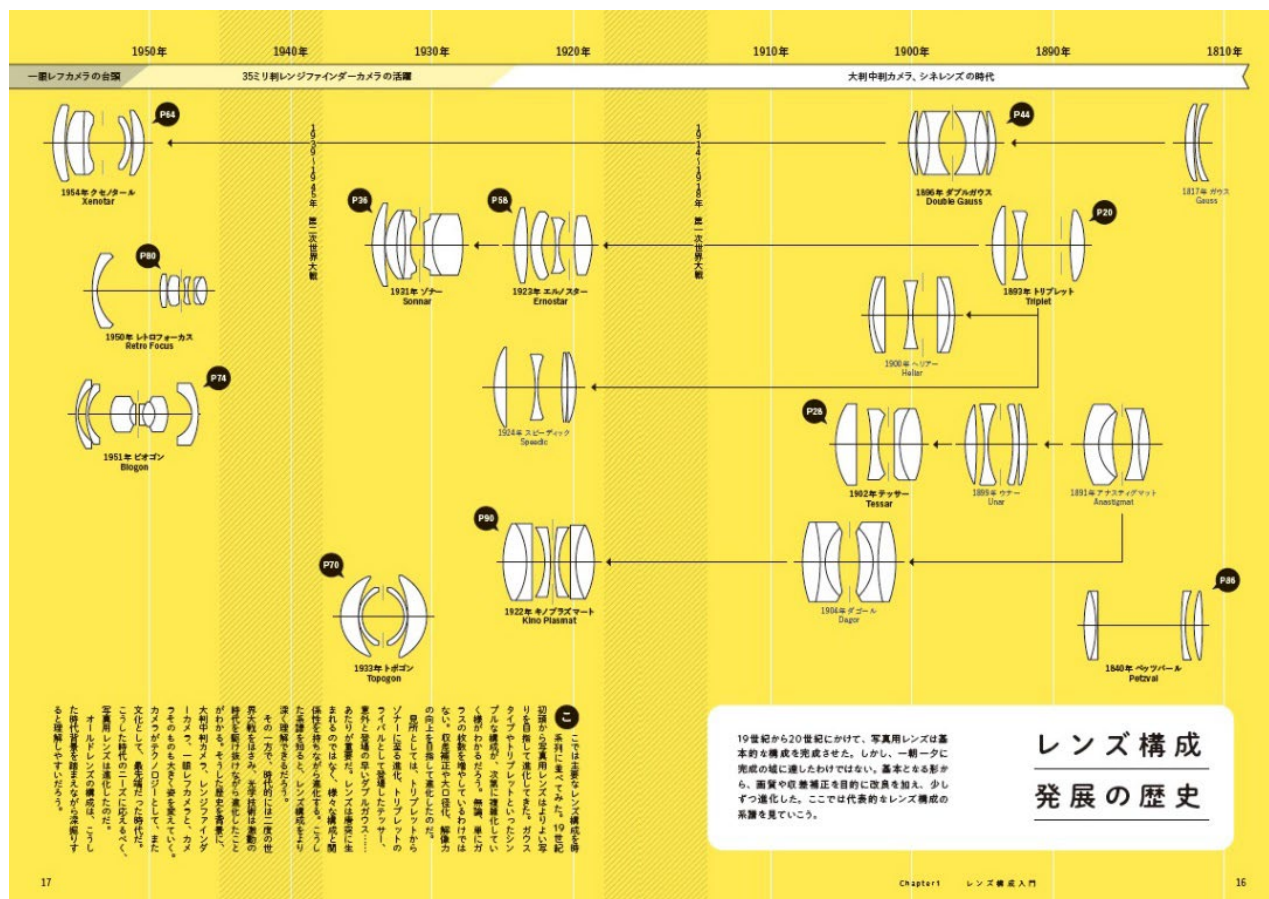
本書は、オールドレンズにおけるレンズ構成と描写傾向の解説書です。既存の光学技術の入門書は理系の知識が不可欠で、ひと通り目を通すだけでも苦勞します。本書は古典的なレンズ構成図を、徹底的にハードルを下げてわかりやすく解説します。



また、該当する構成を用いた具体的なオールドレンズを多数紹介し、レンズ構成図という切り口でオールドレンズの世界を探索できるように導きます。光学技術と歴史という側面からオールドレンズを照らし、オールドレンズの深く豊かな世界へと誘う一冊です。

Cameraholics Lab レンズ構成図で個性を知る オールドレンズ解体新書

● 定価：2,970 円（税込） ● A4 判 ● ISBN：9784798627397



Pierre Angénieux 1907-1998

Story 1

映画界からの使者が
広角レンズを救う

「広角レンズの歴史」を語る。1907年にフランスで生まれたピエール・アンジェニエは、1925年に光学技術者の道に進み、1930年代には「広角レンズの王様」と呼ばれるようになった。彼は、映画界から使者が広角レンズを救うというテーマで、自身の経験と技術の発展を語る。1930年代には、広角レンズの設計が非常に難しく、多くの失敗があった。しかし、アンジェニエは、独自の技術で、広角レンズの設計を成功させた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。

Story 2

カラー映画が
レトロフォーカスの生みの親??

「カラー映画の歴史」を語る。1928年にアメリカで生まれたカラー映画は、1930年代には、多くの失敗があった。しかし、アンジェニエは、独自の技術で、カラー映画の設計を成功させた。彼は、カラー映画の設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、カラー映画の設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、カラー映画の設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。

Story 3

一眼レフカメラの台頭が
追いついた

「一眼レフカメラの歴史」を語る。1930年代には、一眼レフカメラの設計が非常に難しく、多くの失敗があった。しかし、アンジェニエは、独自の技術で、一眼レフカメラの設計を成功させた。彼は、一眼レフカメラの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、一眼レフカメラの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、一眼レフカメラの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。

「広角レンズの歴史」を語る。1907年にフランスで生まれたピエール・アンジェニエは、1925年に光学技術者の道に進み、1930年代には「広角レンズの王様」と呼ばれるようになった。彼は、映画界から使者が広角レンズを救うというテーマで、自身の経験と技術の発展を語る。1930年代には、広角レンズの設計が非常に難しく、多くの失敗があった。しかし、アンジェニエは、独自の技術で、広角レンズの設計を成功させた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。彼は、広角レンズの設計に、多くの心血を注ぎ、多くの成功を収めた。

[illegible][illegible]

【関連リンク】

- カメラホリック公式サイト
<https://www.cameraholics.net/>
- カメラホリック公式 Twitter
@camera_holics
- 大人の道楽メディア Screw
<https://www.screw-hj.net/>

【問い合わせ】株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 岡本
TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 E-mail. pr@hobbyjapan.co.jp
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <https://hobbyjapan.co.jp/>